

(社)日本詩人クラブ 2024年 2月 例会のご案内

— 「戦争と詩」 について —

日時 2024年2月10日(土) 14時～17時

会費500円(会員・会友も)

会場 今井館聖書講堂

講演

「翻弄された『戦時下の詩人たち』

中村不二夫氏

過去の戦争を検証することで、詩の現在を見つめ直す機会を持ちたいと思います。戦時下、なぜ詩人たちは軍国主義に翻弄され、競って愛国詩を書いたのか。それを告発するのではなく、その活動の実態を検証し、そこからみなさまと一緒に、二度と詩人が戦地に行かず、現在の平和な暮らしが護られることの意味を考える場を持ちたいと思います。

■講師プロフィール(中村不二夫・なかむらふじお)

1950年横浜市生。神奈川大学卒。1974年より東京在住。詩集『Mets』(第1回日本詩人クラブ新人賞)、『コラル』(第33回地球賞)など。最新詩集は『鳥のうた』。評論集『山村暮鳥論』『現代詩展望I～VII』『廃墟の詩学』『戦後サークル詩論』『辻井喬論』など。最新評論集は『現代詩NOWI』。現在『戦中詩論』に探求中。日本詩人クラブ元会長、同名誉会員。日本文藝家協会、日本現代詩人会、日本キリスト教詩人会、暮鳥会(水戸)、中島敦の会(横浜)各会員。

◀ 会場ディスカッション ▶

コーディネーター 太田雅孝氏

朗読

私たちは「戦争」をどう表してきたか(詩誌/詩集の中から)

音楽

みんなが歌ってきた 東欧の民謡

歌・鈴田祐子 ピアノ・和田那月 ヴァイオリン・秋山ふみ
フルート・西川真惟子 (曲目: カリンカ トロイカほか)

報告 担当理事からのご報告

* 例会終了後懇親会を行います。

どなたでもご参加ください。

例会・国際交流理事

谷口典子 (TEL03-6265-7485)

丹羽京子 (TEL090-1107-1199)

NPO法人今井館教友会 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

●JR山手線 駒込駅 南口 徒歩11分

●地下鉄南北線 駒込駅 2番 徒歩8分

●地下鉄都営三田線 千石駅 A4 徒歩5分

六義園をめざしてください。六義公園運動場側です。

